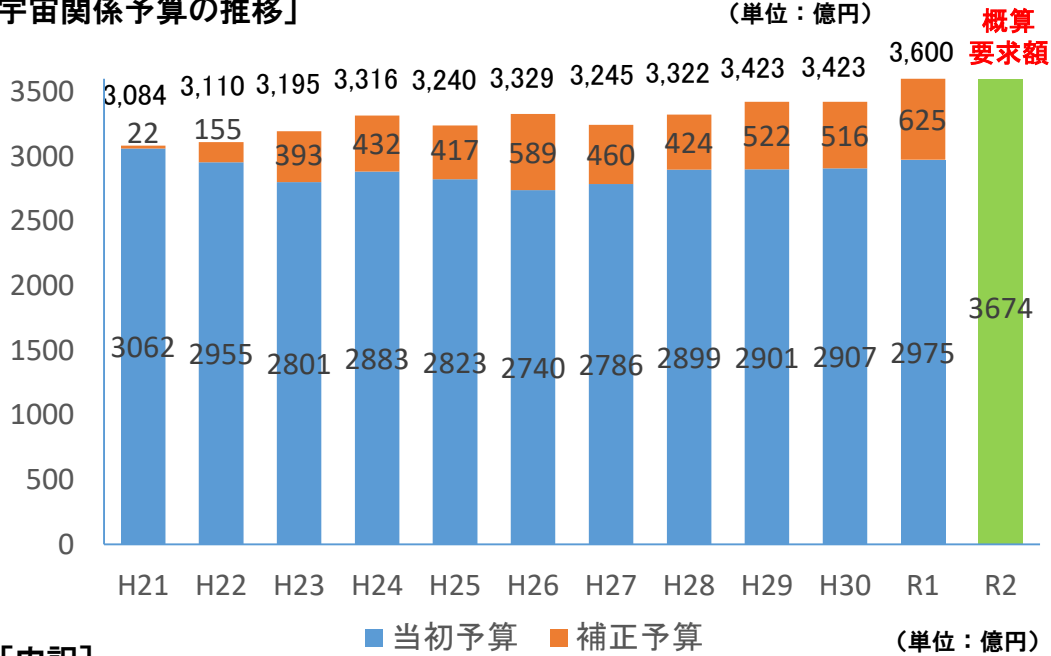


令和2年度概算要求における宇宙開発利用関係予算（省庁別集計）

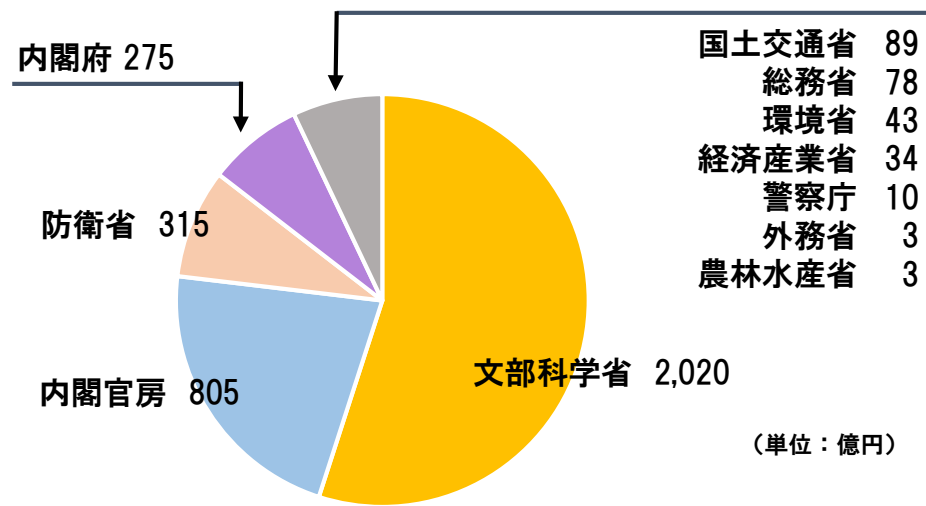
[全府省]

令和2年度概算要求総額 **3,674億円**（令和元年度当初予算比700億円増（23.5%増））

[宇宙関係予算の推移]



[省庁別内訳]



[内訳]

府省名	令和元年度当初予算額	令和2年度概算要求		対前年度増▲減	(増▲減比)	(参考) 平成30年度補正予算
		総額	うち優先課題推進枠			
内閣官房	621	805	247	184	(29.7%)	167
内閣府	272	275	※ 153	3	(1.0%)	151
警察庁	9	10	0	1	(7.1%)	
総務省	78	78	0	0	(0.4%)	
外務省	2	3	0	1	(20.7%)	
文部科学省	1,527	2,020	705	493	(32.3%)	294
農林水産省	3	3	0	▲ 0	(▲ 16.4%)	
経済産業省	26	34	8	8	(28.6%)	
国土交通省	55	89	※ 5	34	(61.3%)	8
環境省	33	43	0	10	(30.4%)	
防衛省	348	315	98	▲ 33	(▲ 9.5%)	6
合計	2,975	3,674	1,217	700	(23.5%)	625

※これとは別に予算編成過程において、「臨時・特別の措置」が検討される。

・財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算している

令和2年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,674億円

(単位:百万円)

【内閣官房】	80,520	(+18,445)	【農林水産省】	251	(▲ 49)
○情報収集衛星関係経費	80,520	(+18,445)	○農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	35	(+0)
【内閣府】	27,530	(+282)	○衛星船位測定送信機(VMS)の運用	216	(▲ 49)
○準天頂衛星システムの開発・整備・運用	26,257	(+3)	【経済産業省】	3,400	(+757)
○宇宙利用拡大の調査研究	532	(+102)	○政府衛星データのオープン&フリー化及びデータ利用環境整備・データ利用促進事業費	1,800	(+649)
○中央防災無線網の整備・維持管理等	152	(+24)	○宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業(SERVISプロジェクト)	600	(+203)
○科学イノベーション創造推進費	55,500の内数	—	○準天頂衛星を活用した無人航空機物流実証事業	4,400の内数	—
【警察庁】	992	(+66)	○石油資源を遠隔探知するためのハイパースペクトルセンサの研究開発事業費	750	(▲ 95)
○高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星の使用等	992	(+66)	○宇宙太陽光発電における無線送受電技術の高効率化に向けた研究開発事業委託費	250	(+0)
【総務省】	7,783	(+28)	【国土交通省】	8,895	(+3,381)
○多様なユースケースに対応するためのKa帯衛星の制御に関する研究開発	12,588の内数	—	○静止気象衛星業務等	3,041	(▲ 46)
○衛星通信における量子暗号技術の研究開発	356	(▲ 0)	○地理空間情報の流通・利用促進の検討	90	(新規)
○電波伝搬の観測・分析等の推進のうち宇宙天気予報業務に必要な経費	1,585の内数	—	○人工衛星の測量分野への利活用	1,012	(+14)
○地域衛星通信ネットワークの利用等	26	(+0)	○海洋状況表示システムの機能強化/海洋監視体制の構築	891	(+243)
【外務省】	296	(+51)	○準天頂衛星を利用したSBAS性能向上	3,693	(新規)
○衛星画像判読分析支援	232	(+4)	○ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進に向けた取組の推進	59	(▲ 23)
○戦略的宇宙外交の推進	64	(+47)	【環境省】	4,298	(+1,001)
【文部科学省】	202,008	(+49,299)	○GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	2,580	(+605)
○H3ロケット	35,095	(+12,346)	○衛星による地球環境観測経費	1,542	(+394)
○イプシロンロケット高度化	1,390	(+50)	【防衛省】	31,475	(▲ 3,289)
○先進光学衛星(ALOS-3)/先進レーダ衛星(ALOS-4)	18,872	(+17,250)	○宇宙状況監視(SSA)衛星の整備	270	(新規)
○温室効果ガス・水循環観測技術衛星	1,000	(+850)	○宇宙空間の安定的利用を確保するための能力強化等(※)	3,994	(新規)
○宇宙状況把握(SSA)システム	2,344	(+1,621)	○衛星通信の利用	16,264	(▲ 2,384)
○デブリ除去技術の実証ミッションの開発	1,100	(+797)			
○新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)	10,774	(+6,964)			
○月周回有人拠点	1,160	(新規)			
○火星衛星探査計画(MMX)	3,046	(+1,446)			
○X線分光撮像衛星(XRISM)	4,049	(+298)			

各府省庁予算の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。
 内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。
 財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算。
 ※契約ベースの金額のため、総額には含まれていない。